

そして翌日の12日午後2時07分にも地から突き上げるような地震が発生しました。震度は6弱で前日と同じでした。震源地が隣町の古殿であり、連日の地震に心身ともに疲れてしまいましたが、幸い今回も怪我をした利用者は一人もなく、職員一同安堵しております。

現在は放射能の値もピークを越え、落ち着いてはいますが、東京電力福島第一原子力発電所がまだ先が不透明であり、余震や地鳴りが続き、予断を許さない状況ですが、利用者・職員共々体調管理に気をつけ、安全確保に努めて参りたいと思います。

## <知的障害者更生施設 ふじみ更生園>

4月11日(月)17:16ころ、福島県浜通りを震源とするM7.1の地震が発生しました。東日本大震災からちょうど1ヶ月後のことでした。東日本大震災の傷も癒えぬうちに起きたこの地震は、私たちにさらなる大きな不安を抱かせるものでした。

ふじみ更生園では、幸い利用者に怪我もなく、また、施設自体も無事でしたが、停電と断水の被害に見舞われました。電気は翌日には復旧しましたが、断水はしばらく続きました。そのため支援物資や給水所で飲料水を確保し、自衛隊による給水により生活用水を確保しました。入浴も断水中は中止して清拭を行い、復旧後も週に3日ほどしか行えませんでした。

6月1日現在では、通常通りの日課を行っており、利用者の楽しみにしている外出もまもなく再開されます。入浴も土・日曜日を除いて毎日行っています。東京電力福島第一原子力発電所の状況が一向に改善せず、まだまだ予断を許さない状況が続きますが、われわれふじみ更生園は震災に負けず頑張っています。

## <ヘルプステーションあくていぶ>

3月11日の東日本大震災以降、次第にライフラインが復旧し始めたと思われた矢先、4月11日・12日に震度6の直下型大地震が相次いで起こり、ライフラインに大きなダメージが再び発生いたし

ました。あくていぶの事務所がある、植田駅前のビルも大きな被害に遭い、避難せざるを得ない状況となり、翌日から全ての荷物を運び出した以降は、同法人のレジデンスなこそこの事務所の一部に所在させて頂きました。サービス提供は、移動支援や家事代行で給水所から水を汲むお手伝いをする事等も、行いました。また、避難先から戻ってきた利用者の方で、再度避難される方もおり、避難先へのサービス提供も実施いたしました。

5月以降も事務所の状態は変わりませんが、徐々にライフラインが復旧すると、避難をされていた利用者もご自宅へ戻る事が出来るようになりました。家事援助でのサービス提供や、移動支援での行き先や公共施設の利用できる範囲も、少しずつ広がってきており、利用者の希望に合わせ、以前のようにサービス提供できる状態に戻りつつあります。

未だ、利用者を始め皆様には、ご不便をお掛けしている部分もあるかと思われませんが、サービス提供については、今まで以上に質の良いものをと、ヘルパー一同頑張っておりますので、今後とも変らぬご愛顧とご協力を宜しくお願い申し上げます。

また、山形県身体障害者福祉協会様より、杖・ビニール手袋・消毒剤等の支援物資を頂きました。必要としている利用者にお渡しする事が出来ました。本誌をお借りしてお礼を申し上げます。

## 支援物資を頂いた方

### (やしおみ荘)

- 牛久ボランティア代表 花澤一枝 様
- 全国救護施設協議会 様
- 東北救護施設協議会 様
- 郡山せいわ園 様
- 日本ユニバー震災対策チーム 様

### (ふじみ更生園)

- 長浜市社会福祉協議会 様